



2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）関連事業に関する 要望内容と結果について

令和5年1月26日
大阪府・大阪市

1 要望の趣旨

国の2025年大阪・関西万博アクションプラン（以下、「国アクションプラン」という。）の改訂に向けて、万博関連事業の推進や財政的支援、規制改革等について地元7団体による要望活動を実施。

2 要望内容 別紙のとおり

○万博を契機とした「未来社会」の実現に向けて

- ① ライフサイエンス、次世代ヘルスケアの推進
- ② スマートモビリティの推進
- ③ カーボンニュートラルや「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」の実現
- ④ 先端技術を駆使した「スマートシティ」の実現やスタートアップの創出
- ⑤ 多様な魅力の創出・発信やさらなる交流の促進
- ⑥ 来訪者の受入環境の整備

○万博会場の整備・運営にあたって

- ① 「未来社会ショーケース事業」の実現
- ② 万博の円滑な運営に向けて

3 要望活動について

(1) 実施日 令和4年12月16日

(2) 要請者	吉村 洋文	大阪府知事
	高橋 徹	大阪市副市長
	三日月 大造	関西広域連合長
	常陰 均	(公社) 関西経済連合会副会長
	東 和浩	大阪商工会議所副会頭
	石毛 博行	(公社) 日本国際博覧会協会事務総長

(3) 要請先	岸田 文雄	内閣総理大臣
	西村 康稔	経済産業大臣
	岡田 直樹	国際博覧会担当大臣 ほか

4 国アクションプランの改訂について

令和4年12月20日に国アクションプラン Ver. 3 が決定され、新たに万博交流イニシアチブやスタートアップの参画促進に関する項目などが追加されるとともに、ライフサイエンスや空飛ぶクルマなどで具体化が図られた。

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)関連事業に関する要望 (主な項目)

～政府の「2025年大阪・関西万博アクションプランVer.2」改訂に向けて～

万博を契機とした「未来社会」の実現に向けて

1. ライフサイエンス、次世代ヘルスケアの推進

ライフサイエンス

■iPS細胞やヒト体性幹細胞を活用した再生医療の産業化

「未来医療国際拠点」イメージ



～万博において、再生医療の実用化・産業化の成果を国内外へ発信することをめざす。

- 「いのち」をテーマに掲げる万博に向け、再生医療の産業化が加速するよう重点的な財政支援。その成果を会場内外で効果的に発信
- 「my iPSプロジェクト」など、大阪・関西で取り組まれている最先端の医療技術を万博会場内外で発信

2. スマートモビリティの推進

空飛ぶクルマ

■空飛ぶクルマ「商用運航」の実現

～万博時に、バイエリアを中心に「商用運航」の実現を図る。



- 地元自治体、事業者の意向を踏まえ、離着陸場(ポート)の設置基準など、商用運航実現に向け必要となる諸元について、早期の明示
- ポートの整備や運航ルートの設定にあわせ、安全性の確保を前提に必要な規制緩和の検討

自動運転

■自動運転の実現

- 万博開催時における自動運転実現のため必要な路側センサー等のインフラ整備
- 遠隔管制の運行基準や監視員の資格要件について具体的な制度の早期整備

MaaS(マース)

■MaaSの展開

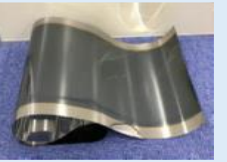
- 「関西MaaSアプリ」(仮称)の構築・機能拡充に対する財政支援

3. カーボンニュートラルや「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」の実現

カーボンニュートラル

～新技術の開発を進め、万博会場内外での実証・活用をめざす。

次世代型太陽電池



- 蓄電池や水素、アンモニア技術など、カーボンニュートラルに資する新技術の開発や実用化に向けた規制緩和・財政支援と、会場内外での実証・活用
- とりわけ、
 - ・ 地元の取組みと連携し、府の補助事業において実証中の最先端技術の会場内外での活用
 - ・ 万博での「テーマウィーク」を活用した日本のカーボンニュートラル技術(水素等)などの発信
- 会場アクセスに必要なEVバス導入に係る補助

4. 先端技術を駆使した「スマートシティ」の実現やスタートアップの創出

スマートシティ

■先端技術を駆使したスマートシティの実現

- 夢洲コンストラクションに関わる法規制等の緩和や財政支援

バーチャル・デジタル

■コモングラウンドの社会実装 ■デジタルID/デジタル地域通貨の活用

- コモングラウンドの社会実装に向けて必要となる技術開発・実証事業への財政支援・制度整備

スタートアップ

■スタートアップ・エコシステム拠点形成

～万博を契機にイノベーションを加速し、スタートアップの革新的技術を世界に発信する。

- 革新的なスタートアップの大阪・関西への集積に向けた財政支援
- スタートアップの技術やサービスについて、会場内での積極的な活用

5. 多様な魅力の創出・発信やさらなる交流の促進

■大阪・関西の都市魅力の創出・発信

- 関西・日本各地への周遊・滞在に向けた、広域周遊観光ルートの整備・充実及び国内外への効果的な観光プロモーションの推進
- 最先端のデジタル技術と観光資源を融合させた新たな観光コンテンツ開発の推進

■関西パビリオンの設置・運営

- 万博の来場者を関西各地に誘導するため、関西各地の歴史・文化・自然・食など魅力ある情報発信や観光案内などを行うゲートウェイ機能の整備に対する財政支援

■水上交通ネットワーク構築

■文化的な国際交流と文化芸術振興

- 関西や日本の文化を国内外に発信するなど、関西に移転する文化庁を中心に、国による文化振興プロジェクトの創設

6. 来訪者の受入環境の整備

■食の多様性に配慮した環境整備

- 民間企業等による、訪日外国人等が安心して食事を楽しめる食の多様性に配慮した環境整備や情報発信の取組に対する支援

万博会場における「未来社会」の体現に向けて

1. 「未来社会ショーケース事業」の実現

■次世代ロボットの配置

- 万博会場での多様なロボットの活用に向けた支援対象の拡大
・会場内での自動配送ロボットによるデリバリー、警備ロボットによる防犯対策等

警備ロボット
イメージ



■ごみゼロ万博

- ごみゼロ・食品ロスゼロ・ファッションロスゼロに資する技術・仕組みの導入
・ごみ回収×ナッジの仕組みの導入、マイボトル・マイ容器の推進等
・食品の需給予測、食品残渣や下水汚泥等の活用(バイオガス製造、堆肥化等)
・ユニフォームのアップサイクル、サステナブルファッションの推進等
- 建物のリユース・リサイクルの促進に向けたマッチングプラットフォーム構築支援

■自動翻訳システムの導入

- 「グローバルコミュニケーション計画2025」における同時通訳技術の研究開発
・外国語間での同時通訳の実現、サーバリソースの検証、研究開発費の増額
- 万博における自動翻訳技術の実証に向けた支援
・N:N会議、翻訳アプリへの同時通訳機能付加など、民間による自動翻訳の実証に向けた財政支援

■高度な通信環境の整備・充実

- 未来社会ショーケース事業の実施に必要となる高度な通信環境整備への支援
・万博会場における空飛ぶクルマ、自動運転、自動翻訳など

2. 万博の円滑な運営に向けて

■テロ・サイバー等防犯対策、雑踏対策等セキュリティ対策

- 先端技術(ドローンや自動走行ロボット等)を導入したセキュリティ対策の実施に向けた支援
- 「サイバーセキュリティ戦略」の取組みの強力な推進
・専門人材の育成・確保に向けた支援、万博事業に関わるサプライチェーン全体のセキュリティの強化
・リスクマネジメントの促進や対処態勢の整備などセキュリティ確保への支援
- 自主警備体制の確立に必要な十分な人員の確保及び資機材の導入

■一般交通への「働きかけTDM」の推進等

- 「働きかけTDM(交通需要マネジメント)」による交通円滑化に向けた取組への支援
・府県民や企業等に対する「働きかけTDM」の具体的な内容検討や実証実験の実施に向けた支援
・パンフレット配布やCM等の実施を含めた様々な媒体を通じた広報活動など、機運醸成に向けた情報発信

400系の外観デザイン
イメージ



■万博公式参加スタッフの宿泊及び輸送手段の確保

- 住宅確保等にあたって、今後必要となる費用に係る財政支援

■万博来訪者の円滑な輸送体制確保及び輸送における新技術の導入

- 民間事業者によるシャトルバスの運営に必要なシステム開発費用等に対する支援(バスロケーションシステム導入)
- 来場者の円滑な輸送体制確保及び輸送における新技術の導入に対する支援(運賃収受のキャッシュレス化、デジタル化)